



僕と継母の

秘  
め  
事

1

エロ本

**Go to next page ★ Go to next page**

**Go to next page ★ Go to next page**



あつ  
今日はいいや

朝から会議で  
もう出るから



僕が物心つく前に  
母親は亡くなった

お父さん  
パン何枚？



そういうのは  
早く言ってもよ

ごめん

戸締まり  
よろしく

さかした しょうきち  
坂下 章吉

さかした けいた  
坂下 圭太



あつ  
そうだ

土曜日の夜って  
何してる？



今は父親と二人で  
暮らしている

まったく…



…なんだろう



別に予定は  
ないけど…

そっか  
じゃあそのまま  
空けておいてくれ



じゃあ  
行ってくる

いって  
らっしゃい



はい



音

ドポポポ



こんにちは



ガチャ



うぶぶぶぶぶ

目の前に  
現れたのは――

ドギーン

昔  
憧れていた――

部活の  
先輩だった――

こみね さとみ  
小峰 里美

僕が  
一年生の頃

部活を  
引退する  
先輩に

思い切って  
告白をした—

音楽室

先輩…

今日で部活  
終わりですね…

うん…

私は  
進学しないし

就職先も  
決まっているから

卒業まで続け  
たいんだけどね

ぼ僕はもっと

先輩と一緒に  
いたかったです

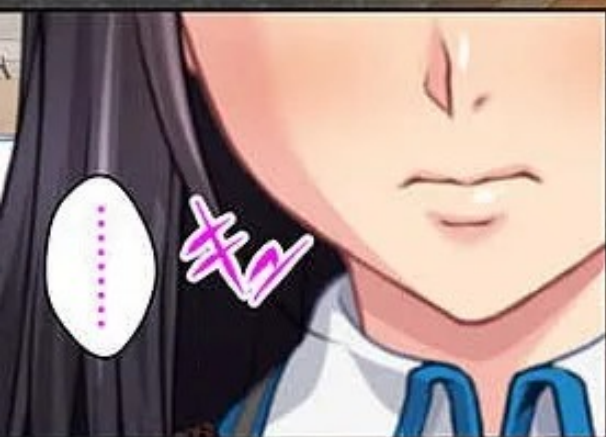
圭太くん

嬉しい事を  
言ってくれるね

もし良かったら…

僕と…

付き合って  
下さる……







ここ  
圭太くんの  
家なんだ

やっぱり!



どうして  
先輩が...



もしかして  
あの時の事を  
覚えてて

うちに  
来てくれ  
たんじゃ...



かつ...課長?

先輩  
お父さんと  
同じ会社  
だったですか!?



よく来たね

ああっ



課長~~~~!



うん  
そうだよ

おじやま  
します

まあ  
とりあえず  
上がって



今まで会社の人を  
家に連れてきた事  
なかったのに…

いったい  
どうしたん  
だろう？

圭太 今まで  
黙っていて  
悪かった



えええええええつ



もしかして…



にはあ

お父さん  
結婚しようかと  
思うんだ！



私が入社  
した時に  
研修を担当して  
くれたのが課長で



フワッ



去年の  
夏くらいから  
付き合い始めて

この前  
プロポーズ  
したんだ



ミスしたり  
する時も  
助けてくれて…



圭太さえ  
良かったら

ココに越して  
来てもらおうと  
思っているんだ

ままさか…



そう  
だったんだ…

…





僕が大人に  
なるのを

待っていて  
くれてたんじゃ  
ないのかよ…



バタン



期待させやがって

…よりによって

なんでお父さん  
なんだよ!!



数日後

ただいま…



クソッ…



この前ココに  
引越すって  
話したじゃん♪

っ…!



おかえり  
なさい♪



そうで  
したっけ?

うん

これから  
よろしくね♪



……ははい…

先輩がうちに  
居るのって  
嬉しいけど…



もうすぐ  
仕事も辞めるし

これからは  
毎日お出迎え  
してあげるね



ええっ  
仕事を辞め  
ちゃうんですか？

うん  
同じ職場で  
働くのも  
気まずいし

しばらく休んで  
転職先を探すわ



って事は…  
先輩が  
お母さん!?

呼び方を  
変えた方が  
いいのかな？

家族に  
なったんだから  
圭太くんの  
お世話もきちんとして  
いかなきゃね

家族…



変えるなら  
早い方がいい  
よな

おお…  
お母さん



圭太くん  
無理しなくていいよ  
年も近いし

おはははっ♡



あ



……里美さん



私の事は……  
里美さんとか  
里ちゃんって  
呼んでもらえると  
嬉しいな

他の人にも  
聞かれたら  
驚かれちゃうよ



やババ……  
可愛すぎる……

この日から  
里美さんと一緒に  
住む事になった



はい

うふふ  
なんか  
照れるね♡



!?

今日は仕事で遅くなるかな

例えば朝の忙しい時——

あっ

意外な程辛かった…

しかしこの同居が



行かないよ

接待って怪しいお店行くんじゃない…

接待が入っちゃって…

ええ~~~~っ



僕がいる前で毎朝玄関でキスしなくても…

う~~~~ん

ちゅっば♡

里美がいるのにそんな所に行くわけないだろ…

お風呂——

ふう〜

カチカチ

章吉さんは  
オツパイばかり

あ〜  
もう

いいじゃん…  
減るもん  
でもないし

ん？

減る減らないの  
問題じゃないでしょ

セーラー

セーラー

カチカチ

カチカチ



それは  
イヤ……



うん  
やめる？

あ  
も  
も



なら……



きゅん

こういうのは  
どうかな？



あー

あー  
どく



知ってるぞー  
ココが  
弱いんだよな



さつきから  
アレがお股に  
当たってるよお〜



ムム  
すりすり



少しね…

苦しい？

くるり

そりや  
そうでしょ  
里美と  
こうしてれば…



あーん



アロ

じゃあ  
解放して  
あげる



何を  
して  
るんだ？



ちゅっ♡  
ちゅっ♡  
ちゅっ♡



ぱくっ



そう？

おっはめっ



里美  
上手くなった  
よなあ

っはっは  
っはっは



うん



だって

初めてしたときは  
歯が当たってたもんな



っはっは  
っはっは  
っはっは

だって 章吉さんにも  
満足して貰いたいから…



そこから比べたら  
エロくなったよなあ

っはっは  
っはっは



えっ

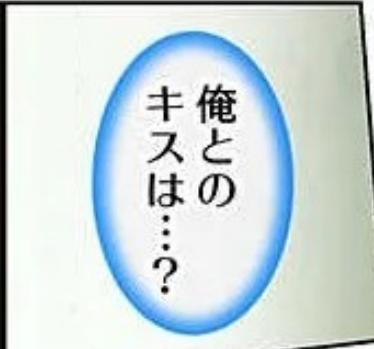


キスもした事  
なかったもんな...

チュホ  
チュホ



ガッ



俺との  
キスは...?



ああの...  
里美さんが...

チュホ  
チュホ



それに...



なんでだ?



フロラ  
を...

ブラン



チュホ  
チュホ  
チュホ  
チュホ

チュホ  
チュホ

またある時は――

はあ暑い…

喉渴いたなあ…

カチヤ

カチヤ…カチヤ…

ううん？  
なんの音だ？

あー

す凄い…

お願い…  
もっと突いて…

里美さん…

カチヤ

---

**END**

---

**END**